



ノミ・ダニ対策



ノミの感染を防ぐには、
どうすればいいですか？

なんだかかゆい
だけど…



病院で処方される駆除剤を定期的に 投与して、しっかり予防してください。

ノミは、草むらなどの動物がよく通る道にさなぎの状態で見守り、犬や猫が通過する際の二酸化炭素や熱、振動などを感知すると、さなぎから成虫へと羽化して飛びつきます。また、感染猫との接触からもうつりますし、同居の人や犬が外から持ち込むことも考えられます。室内飼育の猫でも油断はできません。ノミは非常に繁殖力が強く、室内でも繁殖します。生活環境中のノミのうち、成虫は5%のみで、あとの95%は卵、幼虫、さなぎなどの状態で潜み、再寄生の機会をうかがっているといわれます。部屋はこまめに掃除機をかけ、ごみは密閉して捨てるようにしましょう。

お答えいただいた先生
南大阪動物医療センター 病院長
吉内 龍策 先生



ワクチン接種やノミ・ダニ対策など、防げる病気はしっかり予防しましょう。猫は病院が苦手だからと来院をためらう飼い主さんも多いのですが、獣医師に健康チェックをしてもらう絶好の機会でもあります。億劫がらずにご来院ください。

先生教えて！
獣医師さんの健康講座
春夏に多い
お悩みを解決！

春から夏にかけて、注意すべき病気や日常のケアとは？
飼い主さんの気になる質問や心配事に、
ペイイカタログの監修をさせていただいている
南大阪動物医療センター 病院長の
吉内龍策先生がお答えします。



熱中症対策

夏の蒸し暑い部屋に閉じ込められれば、 熱中症にもなります。お留守番のときは、 エアコンをつけて出てください。

猫は暑さに強いという思い込みがありますが、猫も暑いのは嫌いです。猫にとっての快適温度は人とほぼ同じで、人が暑くない程度であれば大丈夫です。熱中症の症状は、舌を出して苦しそうに息をする、大量のよだれを出す、ぐったりする、目や口腔粘膜の充血など。さらに進行すると、意識が混濁したり、呼びかけに反応しなくなったり、けいれんを起こすこともあります。

対処法は、とにかく体を冷やすこと。

濡らしたタオルなどで、脇、内股、首など、太い血管が通っているところを集中的に冷やすと、効率的に体温を下げられます。お風呂で体に水をかけるのもいい方法です。意識がないような重度の場合は、頭も冷やして、一刻も早く動物病院へ連れて行ってください。

猫も熱中症になりますか？
もしなるなら、症状と
対策を教えてください。



ひんやり
気持ちいい～



換毛期

猫はセルフグルーミング
するから、ブラッシングは
いらないですよ？



長毛種は、ブラッシングをしないと、
毛がもつれて毛玉ができてしまいます。
短毛種でも、自分でグルーミングできる
範囲は限りがあります。

スリッカーやコームなどで必ずケアしてあげてください。多頭飼育をしていると、猫どうしが顔や頭をなめ合っている姿がよく見られますが、これは自分でなめられない場所を互いに助け合ってグルーミングしているのです。飼い主さんがお手入れする際も、猫が自分でできない顔まわりからコーミングしてあげると、比較的嫌がらずにさせてくれます。



毎日ブラッシング
してね



多頭飼育の注意点



庭に遊びに来るノラの子猫を飼おうと思っています。
うちには先住猫がいる
のですが、注意することは
ありますか？

おうちに
入れてくれる？



保護猫は感染症や寄生虫に 感染しているケースが非常に多いです。 とくに先住猫がいる場合は、 迎え入れは慎重に行ってください。

まず保護した猫を病院に連れて行き、健康診断を受けます。ただし、危険な感染症であるFIV(猫エイズウイルス)は感染後約2カ月、FeLV(猫白血病ウイルス)は感染後約1カ月経たないと、検査をしても感染の有無が判明しません。ですから、その間、先住猫と隔離しておかなければなりません。また、非接触性の感染症を予防するために、先住猫に3種以上の混合ワクチンを接種しておくことも必要です。保護した猫を無防備に家に入れる方が多いのですが、こうした準備と覚悟がなければ、先住猫を危険にさらしてしまいます。

通常は、毛を飲み込んでも便と一緒に排泄されるのですが、毛の多い子や空腹時に執拗にグルーミングする子の場合、集中的に毛を飲み込んで毛玉を吐くことがあります。ふだんからブラッシングをしっかりして、抜け毛を取り除いてあげること。それでも吐くようなら、飲み込んだ毛を便として排出させる方法もあります。

食物繊維を増量したヘア
ボールコントロール用の
フードや、猫になめさせる
毛球除去剤などを試し
てみてください。



換毛期で抜け毛が
増えたせいか、
毛玉を頻繁に吐きます。
何か対処法はありますか？

毛づくろいが命…

